



レプトン校との交流 2 日目。今日は朝 1 限の開始時刻からレプトン校の生徒たちとほぼ同じ日程で授業を受け、「レプトン留学」を丸一日体験しました。レプトンの生徒は、火曜日と土曜日の午後は基本的にクリケットなどのスポーツに参加する時間に割り当てられています。私たちはその時間も科学実験を受け、まさに「科学三昧」の一日となりました。当たり前ですが授業はすべて英語です。

実験ではまず、私たちがよく口にする清涼飲料水に含まれる物質を定量的に求める化学実験を行いました。物理講義では、屋上に設置したばかりの反射式望遠鏡を用いた観察、宇宙空間を想定した圧力実験、ロケットの打ち上げ実験、さらに 3D シアター（学校にある！）でのハッブル宇宙望遠鏡に関する学習など、盛りだくさん。アカデミックな校舎の屋外で、ラグビーコートに中央に置いた的（ま）めがけてロケットを打ち上げる実験はとても爽快でした。午後は昨日の生物実験の続きを行い、遺伝子組換えの結果について考察しました。

今日 1 日の授業を通じて、レプトンの生徒たちとの距離はぐっと近づきました。科学は世界に共通する理念の一つです。科学を志す同世代の若者が打ち解けるのにさほど時間はかかりません。最後は、理科主任のシュアート先生のいきつけのピザレストラン（Bull's Head）で合同夕食会を催し、さらに交流を深めました。



レプトン校への登校



清涼飲料を用いた化学実験



レンズの法則と望遠鏡の原理



圧力に関するさまざまな実験



屋外でのロケット打ち上げ



実験制限酵素、遺伝子組換え実験



DNA 試料の電気泳動



レプトン校の生徒たちと



Bull's Head の巨大ピザ